838
297
116
部
宮
階

国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

帝國圖書館藏書

閒部 参原 本三河
本西西

習宮 宇多源氏 本相模
真野桑

又 清和源氏 本下総
成田流真里谷

又 本三州

藤原
閒部 本西三河 紋丸内横三引三鎗吉

清貧 西田喜兵衛 陽居紹有

根岸信輔氏寄贈

帝國圖書館 昭和八年 寄贈

寛永十六年六月生伊勢州山田
延宝三年中出江戸 永移西州居住
延宝三年中出江戸 櫻田小殿衆被召抱廿五人扶持
室狩氏也 後改紹有
享保元年子ノ六十四年七ノ三芙花院九品寺
于江淨院殿号誉光山紹有居士

諸役 閒部右京 常内 越前守 紋同守 従四位侍従
母小川清光ノ女 芝泰院
妻土屋狩女 元禄二年七月

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

藤原
閒部
清貞

文永十六年卒生伊勢州山田
延宝年中出仕广永移武州品川
延宝年中出仕广
櫻田御殿衆
重行宅也後改紹有
平徳元年广六十四年七广三月
于田淨院殿長誉光山紹有居士

閒部右京 嵩雨 越前守 紹有
母小川清定女 法号 芳春院
妻小花和定女 元禄二年七月

西田喜兵衛 陽居紹有

丸内横三引三鋪

根岸信輔氏寄贈
昭和八・贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

寛文六年中五十室武州忍

諸負　　閻部主膳
　　毋同
　桜田中殿祖妻賜三百俵為当合宝永元年甲申十二五千九俵
　為御小納戸加二百俵合四百五俵信濃守
　守保十二年丁卯五十七死葬花川戸
　于本祥院殿然墓一到寂地方唐寺九品寺

諸方　　閻部多門　若狭守　毋従守
　毋田中氏女　于信十年己丑七月二死葬九品寺
　于宕真院殿勝国閑持殊法大姉
　宝永六年己丑六月生実下邸
　為本家下総守諸言智養子

女子　　毋同　　小出造酒丞某廣寿

女子　　毋同　　安部主水信芳室寿

諸之　　毋同　　閻部右門　陽好守
　桜田中殿祖妻為奥御小性賜三百俵宝永元年甲申十二五千九俵
　三百俵加二百俵信濃守同二年乙酉九月諸大夫陽好守同二年乙酉
　同年四月八知爵同七年庚寅十三加五百石合千五百石
　四徳二年辰十四薨中落髪同二年壬午三加五百石合千五百石
　同六年丙申五十六歳合

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

詮綱 阿部玄蕃
女 寛司姓淡路守詮衡三男
重毎 秋田兵部少輔
主保 年

女子 寛司姓淡路守詮衡女
重毎 秋田兵部少輔室

阿部玄蕃 主水
克 寛司姓淡路守詮方弟
重毎 高木房

女子 母

養子 方元妻

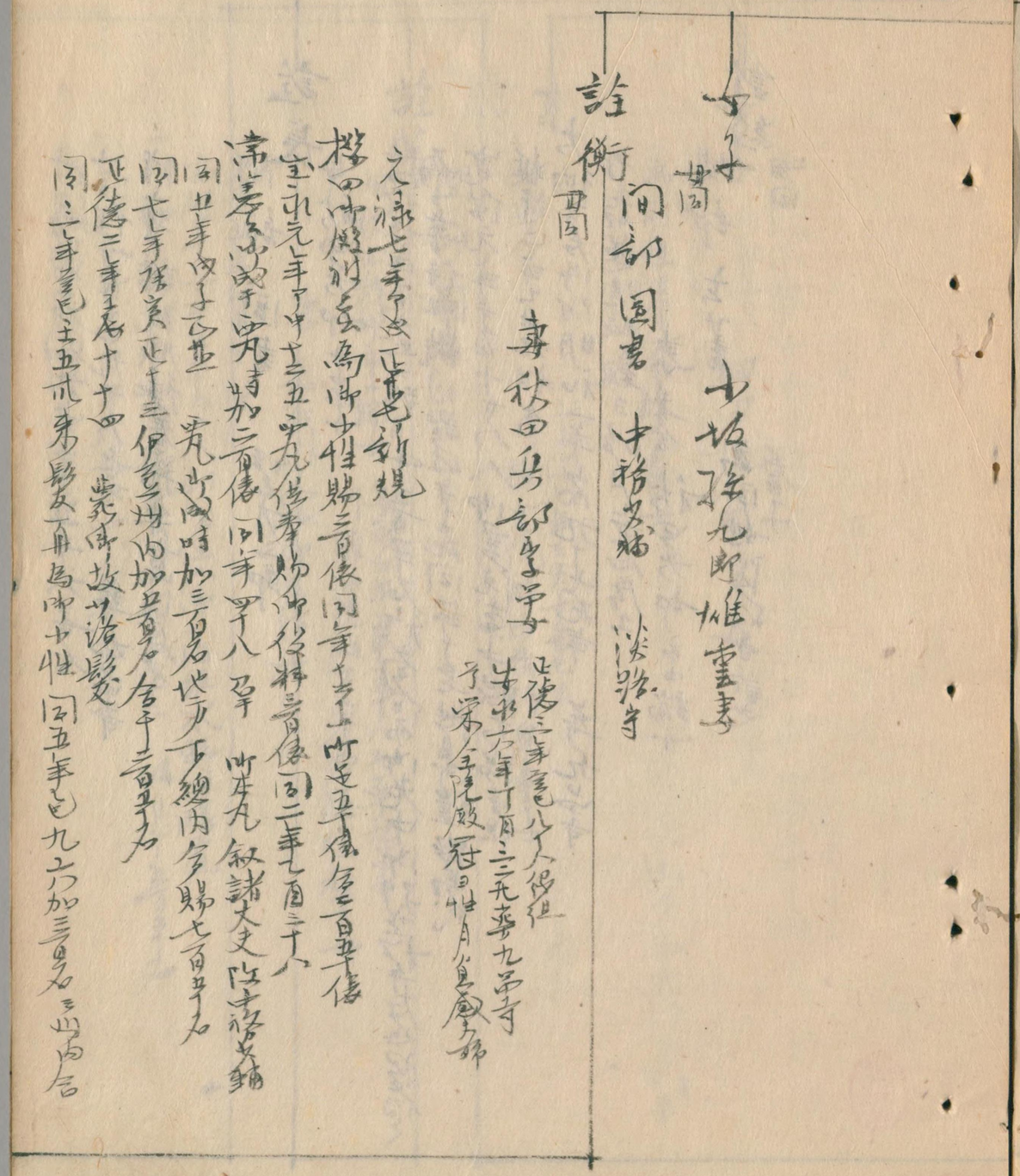
寛保二壬戌年十月十八日卒

糟屋左門
室 細田兵庫守
実母 阿部隠岐守詮之女

阿部為次郎 主水
方元 母同姓玄蕃詮綱女
主殿頭

寿

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用


詮
衡
子
同
同
同

千五百五石 同六年甲午五十六歳卒
子保十七年己酉九廿六歳
子孝謙院殿従三位邦安尚宣居士

詮長 間部 圖書 從五位下
母秋田兵部少輔女
子保十七年己酉十二月廿五日卒 法名於多
為土井伊賀守利謹養子 寛延元年戊辰十月十八日
定保元年庚辰九月廿八日 大御書院番士被
延享二年乙丑九月朔日 大御書院番士被
大納言家治卿明和三年丙戌九十七死年
子春運院殿徹翁月庵居士

詮綱 間部 玄蕃 從五位下
母同
妻 寺倉 秋田兵部少輔女 法名於多
為同姓陽好寺詮之養子

女子 細田小次郎 妻
母同
為同姓陽好寺詮之養子

某
母同
子保七年庚寅十二月七日卒 法名
子放光院殿照岳行身童子

詮蕃 間部 圖書
母秋田兵部少輔女 法名於多
子殿中五年甲申五月廿八日卒 法名九品寺
妻 長谷川久三郎正脩女
元文五年庚申生
宝暦十三年癸未八月 部屋住
明和二年乙酉十一月廿四日 従五位下
天明二年壬寅十月十八日 元年甲辰九月廿九日
子誠還院殿随先居士 法名源居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

遠山景任郎
母同

為遠山久四郎
妻子

母長谷川久四郎女

夫明元年子五
子浄心院福光紹耀妻子

閻鄰虎吉　源十郎

註芳
母同

妻同姓下總守諏訪女　安政五年卒法名
安政五年卒法名
天明二年壬寅十二月四日行年百千名於駒岡而葬
駒方寺傳之為十妻詳在
同三年癸卯二十八但自中禮仰大方銀馬代
寛政七年乙卯十六日丸仰書院番勝四郎兵衛尉

昌德　安部能五郎
母同
為安部伊織妻子

宇多源氏

間宮 連國 木模 紋四目結

宇多大皇帝子敦實親王孫
佑宗兵庫助經方男

行定 万石五郎 従五位下
江州佐々木荘神主

定時 真野源次郎
居江州真野

時信 船木大郎
居江州船木

信光 船木大郎

信業 船木孫大郎 左ノ方
母甲斐国某ノ子

信行 船木太郎右ノ門
母守屋氏

定道 散位 従五位下

信重 右ノ尉 豊前守 法名通国
母大友式部大輔親秋女

信冬 間宮新左ノ尉
仕大友義鎮 即頼朝得
相州糟屋五百貫
應永廿二年上杉方参ル
一加勢力
始終間宮

信成 間宮弥三郎頭
仕大友信濃守頼貞
應永十五年右故
自殺

信武 間宮左衛門尉
仕大友大膳大夫宗麟 即應四年豊前ノ時
濃人

信高 間宮豊前守
仕大友信濃守氏泰 法名通早雲 得替知行仕氏
大永六年丙戌七十三死 年六十四法名宗三

信俊 間宮監物 豊前守
明應二年生相州
仕大友氏綱氏康天文十五年甲斐武田川越夜討被召捕
等五年三法名光林祥運門

信次 間宮右ノ尉
生相州
仕大友氏綱氏康相州与和仕死七年法西

某 間宮弥庫
生相州
兄信次与和仕死法名清西

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

信忠　　間宮孫次郎右ノ尉

生國相州
仕北條氏政住武州杉田
法名旧法

信盛　　間宮孫次郎右ノ尉

母両田孫太郎信明娘
居武州杉田住北条氏政
天正十八年豆州参陣
小田原落城信盛
大神君賜武州杉田化慶長六酉年
元和二年丙
子日
卒朝倉因幡寺改号

信之　　間宮右ノ尉　後ニ勝太郎

母朝倉播ノ守女
生国武州杉田
慶長二年酒井
大神君御十二年丁未御
宮参元和二年丙子ノ冬遺領千石
合二千七百石御
加増

女子
　母同
　神原大内記照久妻

信　　間宮右ノ尉

母
　妻岩松丹後守静女
寛永廿二年乙申
二月十日死
父娚御厨鳥羽ニ配
延宝二年甲寅六月十八日
子妻先死ニ付剃髪
法名妙信尼
盛正　太田新九郎
　間宮孫次郎
信勝　母同

寛永二年乙丑　死

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

寛永廿一年甲辰知七百石同年十二月廿五日
寛文四年甲辰
致

信俊 同宮長三郎 孫
母 本多康俊女
寛文四年甲辰十二月廿日七百石
本国肥後守光尚君仕源号
天和二年壬戌十月七日小姓
元禄十六年癸未
女子 母同 太田源兵衛 致 伊勢

信包 同宮源右衛門 孫 天和二年壬戌二月一跡 御目見
母 元禄四年辛未十二月廿日小姓 元禄十六年癸未
元禄十六年癸未十月九日四百石分知二百石賜伊丹
為大名保格別宅
宝永五年戊子
致

伊丹大夫 信明 妹 長子 壻
元禄十六年癸未十月九日知二百石為大名保格別宅
宝永五年戊子八月廿日病死 法名 長谷川久之助
元文五年庚申六月九日葬 山州 杉生 妙法寺
元文五年庚申六月九日逆修 法名 信院妙敬日行

女子 母同 六月九日葬 辻一柳山 栄稲寺

信竹 小江御
寛保元年辛酉十月廿日逆修 法名 信院妙敬日行
元文五年庚申六月九日葬 辻一柳山 栄稲寺

某
某
某
某

宇保九年子正月廿六日葬 栄稲寺
宇保九年子二月廿日葬 栄稲寺
宇保十三年丙寅八月十六日葬 栄稲寺
宇保十三年丙寅八月廿日寛保元年辛酉十月廿日逆修 栄稲寺
元文元年丙辰七月八日葬 栄稲寺
宇保九年子二月廿日葬 栄稲寺
宇保九年子二月廿日寛保元年辛酉十月廿日逆修 栄稲寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

某
信命
岡宮友五郎　帯刀
寛文四庚寅年正月廿三日父跡目
寛文十庚寅年十月廿三日父跡目
寛文十庚寅年十月廿三日父跡目
寛文十庚寅年十

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

元文四年己未
同日賜名為十郎忠四郎
同年十二月大御番被召加
宝暦九年己卯年九月病死 法名頭光院殿

女子 母

女子 母

信行 母 間宮幸乃

浅井六次郎

母

大御番 為御役免
浅井孫左衛門

大御番組頭
服部庄之助 俗名

元文元年申年生 十二月病死 伊奈信明
養子

為姉聟
浅井孫左衛門

寿

女子 母

遠藤久乃

寿 八十郎 女子ニ女

信義 母 間宮傳次郎

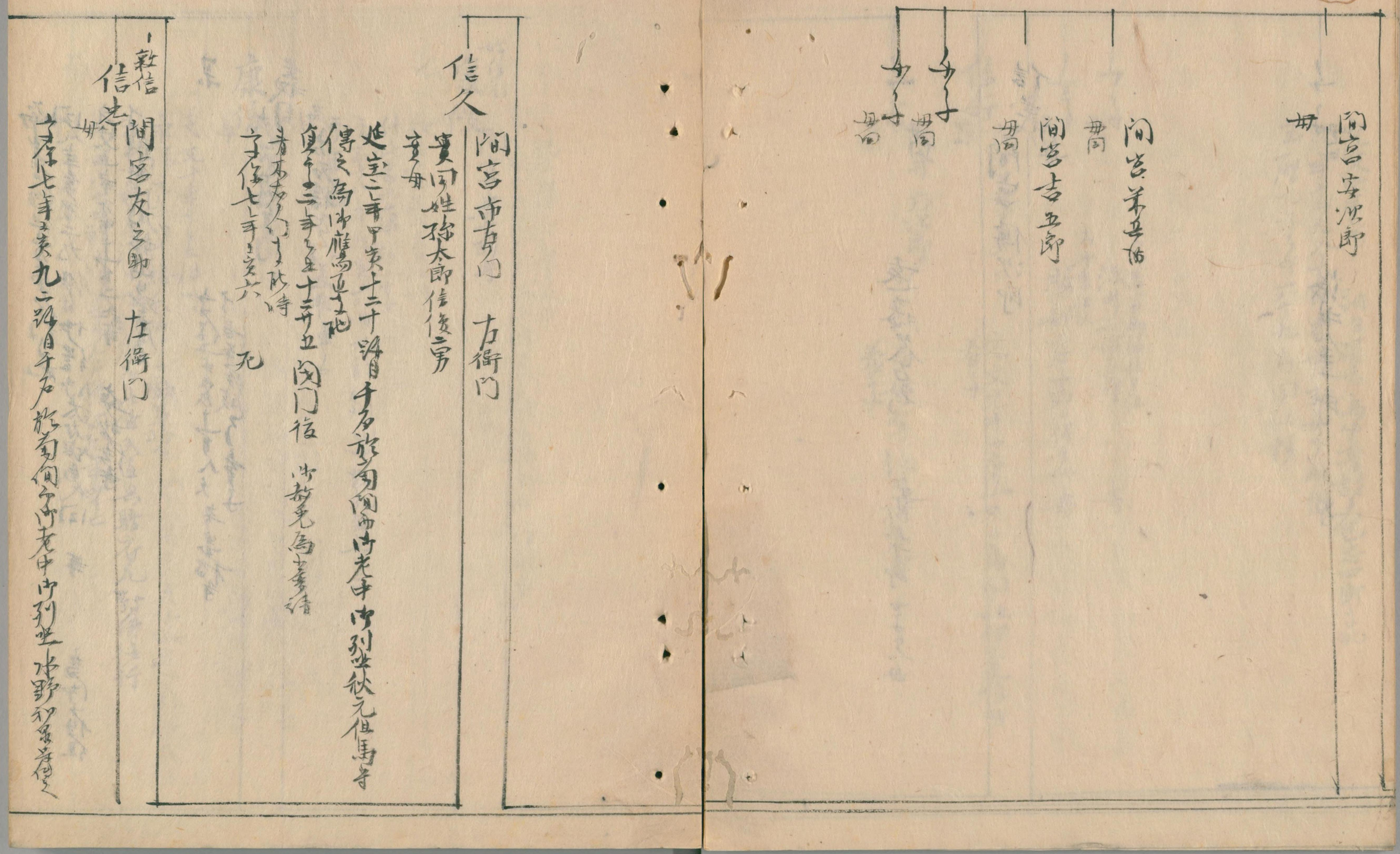
女子 母

浅井金一郎

寿

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

直元　阿宮彦太郎　新右衛門

元慶二年丙午生相州
玉平五年十月任北条守護職于
大神君知其名改神号
康長十六年于美濃国遠山即左衛門
同十九年于美濃国郡拝謁献白銀千貫目之貢
同年冬大神没後帰国十五年慶長十八年庚寅山田至之後帰居
于栄林

忠次　阿宮彦次郎　生伊豆

文和三年甲午生始于名和代官
寛永十九年壬午七月七日葬于山杉源寺
于栄厳元栄居士

信正次　阿宮三郎九郎

阿宮権三郎　新右衛門

正保元年甲申十二月五日于名和代官
寛文七年丁未

真如一行禅定門
慧明昭田禅定尼

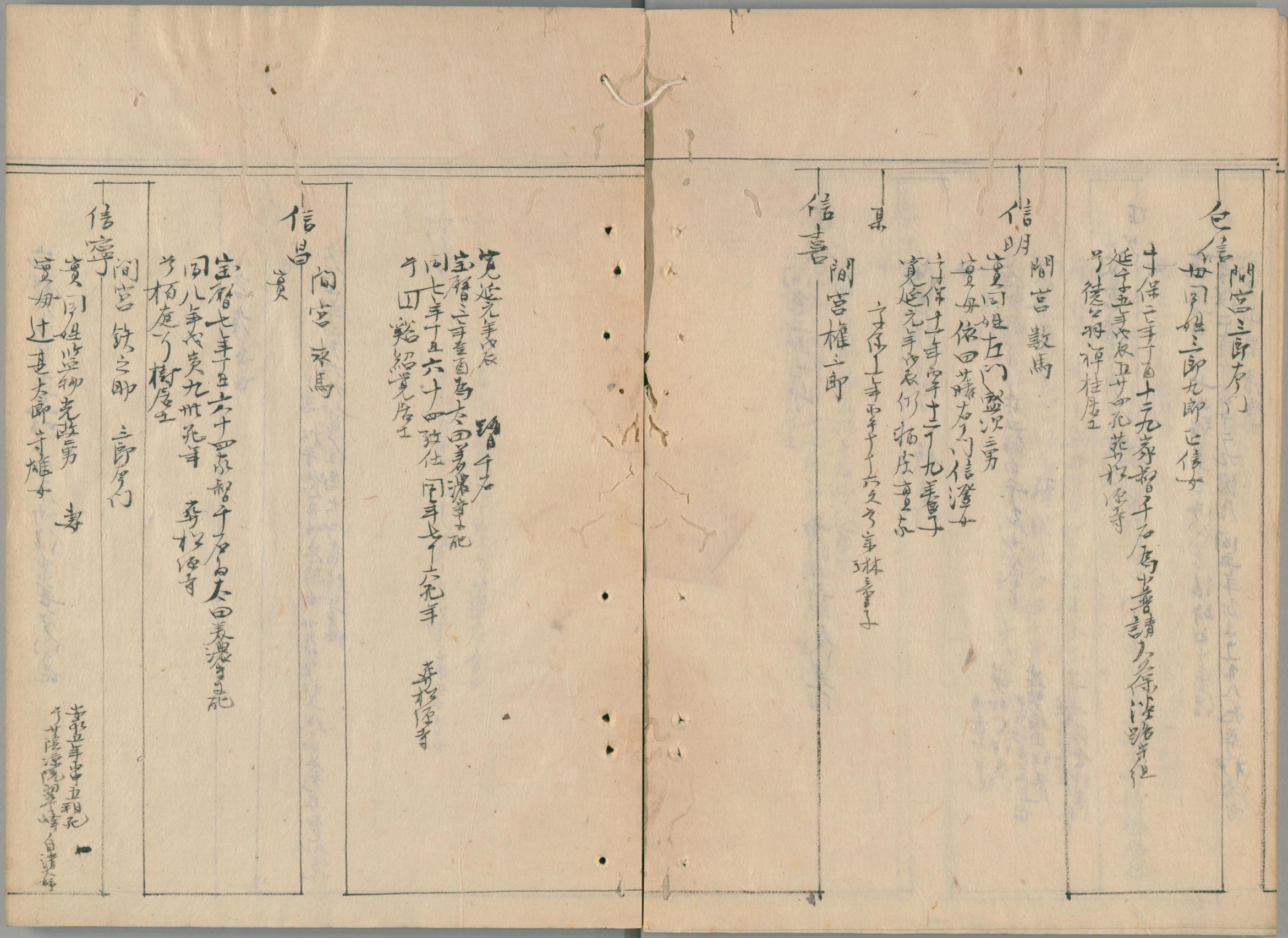
高岡雄之助
妻子

正次　阿宮権之助　新右衛門

寛文七年丁未七月五日于名和代官後移
于保二年壬寅十月九日居田五年乙卯八月八日葬杉源寺
于大山栄清居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

某

同宮善十郎
仕北條陸奥守令照
於相州二度役戰死年廿三

同宮傳左衛門　惣七郎
元重
仕北条令直
天正十八年六月十一日　身在
大神君於武州賜知行三百石為御手
正保二年七月十五日死年八十五葬武州平澤領真言宗法泉寺
子正儀院應善淨久居士

同宮惣十郎
元義　女
慶長十年中自部屋住給忠山手鷹役

同宮惣十郎
元平　母方家号五味助左衛門
生所
元禄九年申子二月
所覚性院殿秘光日教居士
寛永二年乙丑十二月廿日
後水尾院勅諡
元禄六年癸酉十二月廿六日
子生覚性院殿

同宮三左衛門
元信　母
元和十年甲子正月生所
慶安四年辛卯十三新規被召出
櫻田中殿御中之屋敷賜百俵宮
承應元年壬辰十廿三同組頭加百俵宮
賜二百俵　月俸之外

寛永二年乙丑十二十九疫年三十六葬武州
子覚永院殿明誉正白居士

寛文十年庚戌七十八御廣敷番頭自分之屋敷ニ而
吉山権四郎御覚文十年九月廿四日
元禄九年丙子七十二死年七十七
号覚浦院秋光日敬居士

元政 門宮三右ヱ門 勤仕之時海軒

母

宝永元年甲申十二五 御免御暇ニ而
正徳二年壬辰三十九 大小十人組
寺住持 御納戸為十人扶持
而十六年丙午六月七日江
延享二年乙丑二十一死 芳法善寺ニ葬

大橋小三郎

子保十九年甲寅四月九日死 芳法善寺
号深修院殿妙淳日定信士

寿

門宮織部 五百石

母

元禄五年壬申生
享保十六年辛亥五月七日 御暇ニ而
同廿二年丁卯五十六隠居
元文二年丁巳三月二日死 芳法善寺
号観覚院殿文善日堅

門宮惣十郎

妻

正徳二年壬辰生
子保廿年乙卯五十六 家督ニ而百俵
為十人扶持 能勢子十郎記
文文二年己巳大坪方御納
延享二年乙丑二十一死 芳法善寺

明和五年戊子八月死 年五十七

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

子顕山院ノ女葉落院殿遠忌日実名

元貞 円宮 母和泉郎 傳五郎

明和五年四月
安永二年三月 四六 法名 海目二百像 十五箱 書山主馬之助
天明元年十五七六 為新四番 天野次郎左衛

元成 伺宮 十五郎 彦市

生國同
慶長二年十
台徳公御名字偏
四十二歳而歿
法名 圓喜

元時 間宮 楯之助

寛永十三年四月 御番

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

信次 閑院 長九卿

母同

慶長九年子誕生
寛永五年戊辰十六歳而拝
大猷公初見御廉通被
賜年
同十三年丙子 治年三十三ヲ逝

方次 閑院 長九卿

母

寛永十二年乙亥生
同十四年丁丑 従四位下侍従
大和二年戊子 任二不ヲ加
元禄十二年己卯十月九位
同十三年庚辰四十六薨于
于牡院 應永院居士

定盛 閑宮 稔四卿

母

正和二年癸亥九廿五 部屋住
元禄 年
辛保十五年庚戌 廿五 而
少書請但不承其遺物 死
同年十二月廿五日 改在

鼎隆 閑宮伊勢守

母

寛文十一年辛亥生
宝暦九年己卯六月廿四 死年六十而
葬年也法名 高原寺
于大有院殿 圭源自性居士

弘壽 閑宮喜大卿

母

寛文十三年癸丑生
宝暦十三年癸未正六 死年七十九
葬同寺
于知香院殿 法雨弘壽居士

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

隆轉　女　閒宮彦六郎　於花下

盛卿　女　閒宮孫四郎　姑八月八日　正保三丙戌年五月廿日卒

元文五庚申年十二月廿日卒　二百俵
寛保元辛酉年十一月廿日卒　自永井監物之養
延享二丑年七月廿四日卒　四六之末在番所

盛時　女　閒宮長三郎　於伊勢

明和元甲申年十二月廿六日卒　二百俵
安永四年乙未八月為二條御門番頭

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

盛前 河宮喜之助 孫四郎

盛政 河宮勘解由之助 孫四郎

宣政 年 吠目二百俵為十人扶持方宇之配
同六年甲寅六月二十六日卒
文化七年庚午 改

文化七年庚午十二月廿日二百俵為十人扶持方宇之配
同十二年乙亥十二月卒

信高 河宮造酒丞
仕信玄勝頼

元條　母　問宮清大夫

元禄六年當十二大衆智百俵於御老中御列座之節御傳之為土普請井戸對馬守組
同十六年當五月六人扶持當半分組
享徳五年六月四日病死為土普請組

好與　母　問宮權之亟　惣七郎

宝永六年巳正月六日屋敷不足ニ付十二俵十二人扶持為土普請井戸四間半ニ付組
享延二年死

元明　母　問宮惣之郎　清次

宇保七年三月廿日屋敷
享延二年死子
宝暦二年三月為島回り五郎次郎
安永九年庚子四月廿日病死

綱信　母　　閑宮若狭守　　始源十郎

天文十一年　生拠州
備北俗陸奥守氏照天正十八年庚寅十月始在
大神君鴨倉色三百石
慶長十四年己酉七百七十四石元年六十五
法名休意
閑宮兵部大輔

母
住北條氏改氏直
子等見

元次　閑院土喜左ノ門
大正十六年六月十日
方神君祖号
法名浄献

元勝　閑院彦六
寛永四年十月卒仕
大献公

元尚　閑院喜大郎土喜左ノ門彦六
元禄六年三月十九日従五位下
助二百俵

元章　閑院理左ノ門
法名清

元貞　閑院彦六
御徒
天和二年召出
宝永四年十月卒仕
大献公

信秀　閑院喜兵ノ門彦六
享保十九年十月廿日

好登　閑院式部大輔
住陸奥守

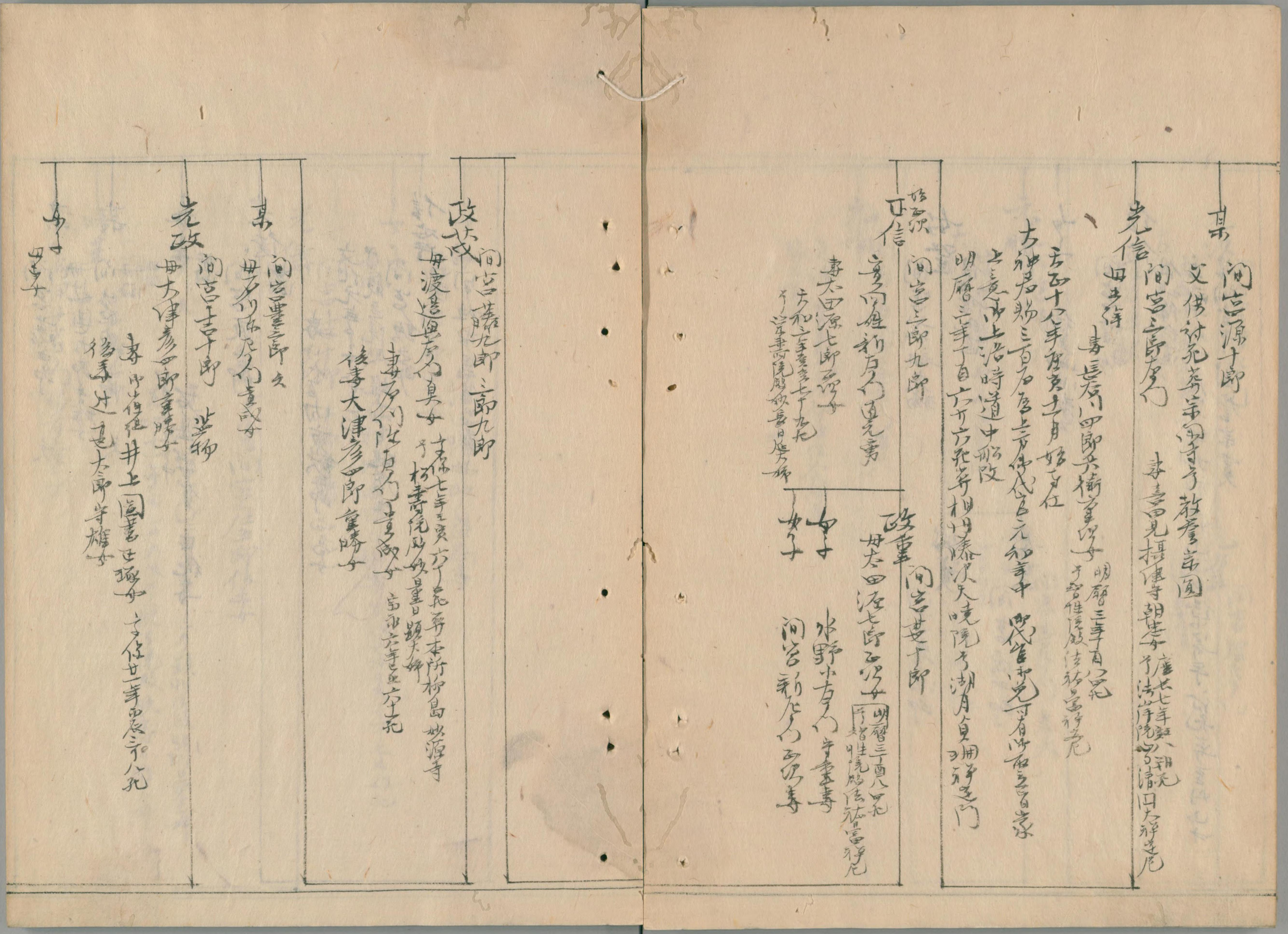
信俊　閑院筑前守
住北條氏直
天正十八年庚寅七月九日於
武州小田原城御手討死年三十
法名清貞

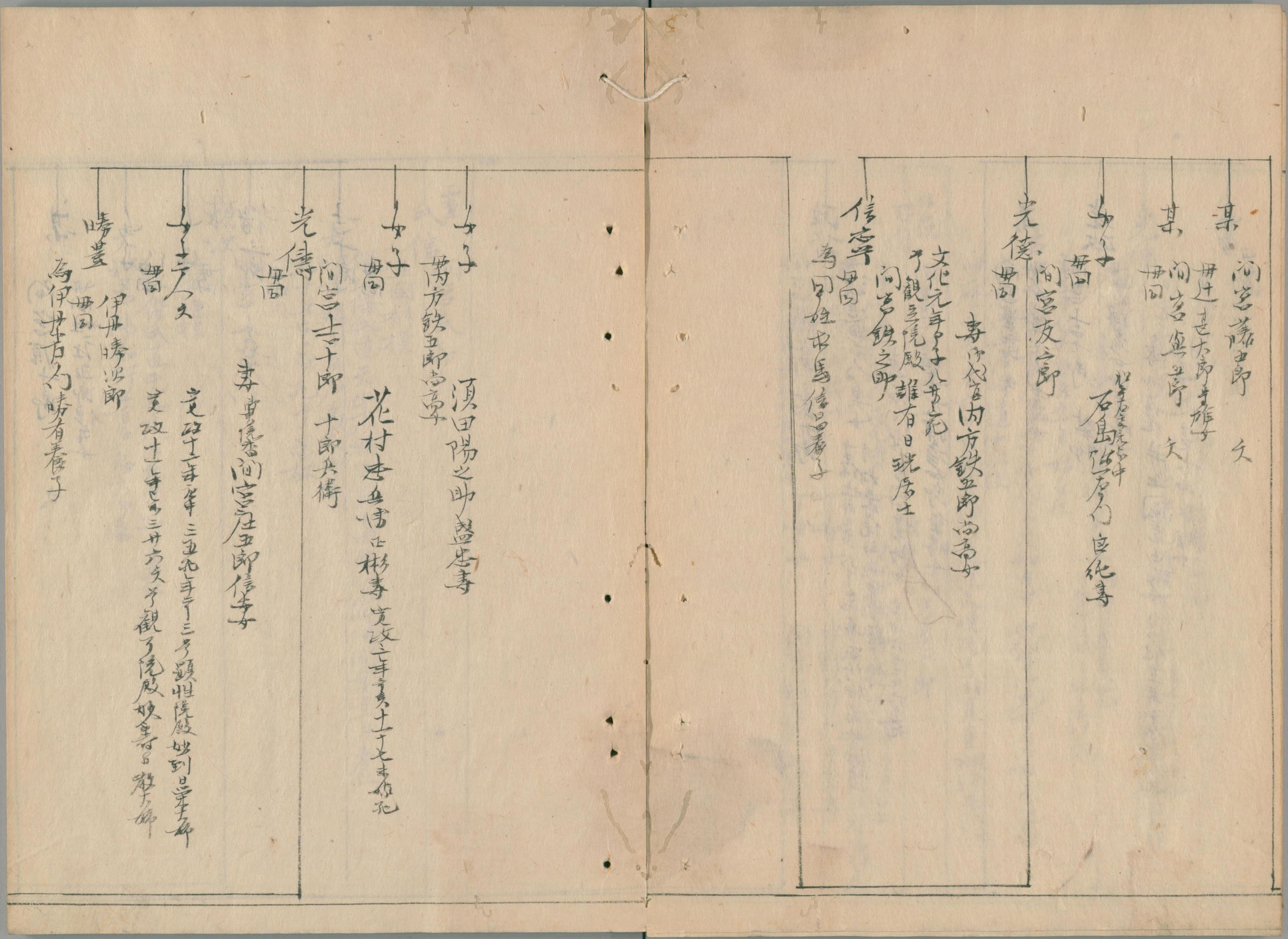
女子　伊達政宗室

好実　閑院源四郎

好貞　閑院彦次郎

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用


某
河宮源十郎
又傳討死奉命寺于教尊帝圓
光信 河宮三郎九郎
母出仕
妻壹岐四郎兵衛重門女 明暦三年二月廿五日
五十八年奉公之時
方神君賜三百石之地代官元和年中
上意申上洛時道中船改
明暦二年丁酉六月六日卒杉山藤次大曉院于湖月貞用子法名富子尼
妻壹岐四郎兵衛重門女 明暦三年二月廿五日
方神君賜三百石之地代官元和年中 改官名兵衛尉



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

盛宇　閒宮新四郎
母
又號自三百石為大御番高木主水忠保
慶長廿年乙卯七大坂役渥於鉾創有感賦之

盛俊　閒宮七郎兵衛
（姓氏錄）
寛永
元和元年乙卯為台德院三百俵此時小栗又一忠真等
寛永十年第八六為新御番安西正直等組
延宝元年癸丑九御書院番頭
同八年庚申五月九死年七十二葬于
長松院殿傍州志英屋
妻多賀前方八常次女

盛重　閒宮孫兵衛
母多賀前方八常次女
万治二年己亥七四郎屋敷御書院番多賀伊賀組
延宝八年庚申九月廿日
享年廿五年法名長五英元

盛正　閒宮金平郎
母
天和二年壬戌三月九死
盛宝無嗣斷絶

盛高　閒宮惣左衛門
母同
寛文二年壬寅十九為出羊在鳥居三郎左衛門組同廿五日妹

理信 母曰 [illegible]

某 母曰 [illegible]

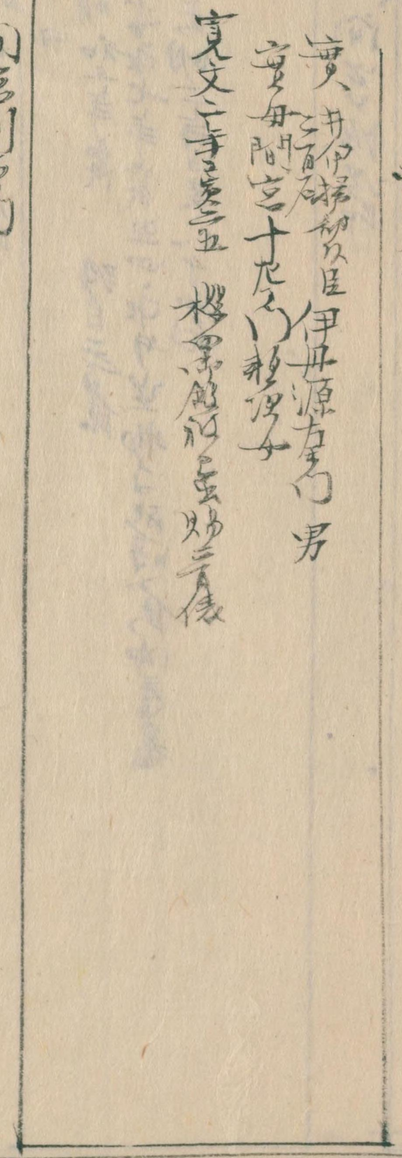
寛永十二年[illegible]

慶安四年[illegible]

[illegible]

[illegible]

盛



盛峰　岡宮平次郎　五郎兵衛

寛保三年癸亥十二月廿日
明和二年乙酉八月廿六日死

盛秀　岡宮平次郎

明和二年乙酉
廿日
廿永七年戊寅五月廿日
天明二年壬寅八十歳死

法名
盛英　岡宮甚次郎

寛政元年己酉廿日
寛政十年戊午真野助左衛門
寛政十年戊午真野勇力と仇討
事

天明二年壬寅十五歳
傳之為十五歳

盛次 岡宮右門
母毛利敦馬高明女
妻大帥妾 依田藤左衛門信澄女

盛明 岡宮孫次郎
母同
為同姓彦之丞養子

盛伸 岡宮新十郎
母依田藤左衛門信澄女
妻大帥妾中村宮内少輔女

信久 依田又十郎
母同
為依田又十郎信貞養子

信明 岡宮數馬
母同
為同姓二郎右衛門信房養子

義處 大石友右衛門
母同
為大石孫右衛門義寅養子

高寛 毛利次郎八郎
母同
為毛利次郎八郎高平養子

基 岡宮七之亟
母同
為前田土佐守家人奥村左馬之助永頼養子 寛保元酉年八十六歳

主馬 久
東次郎大

盛顕 岡宮嘉兵衛 七郎兵衛
實田村助大夫頼紀男
實母能本帯刀宣藤女

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

間宮豊吉　惣左ヱ門

盛信　母中山親武　妻 大久保忠世女 中山五郎左ヱ門伸豊女

盛之　永井仙次郎　母同　為永井無庵ノ之直等養子

豊吉　夫　母中山五郎左ヱ門伸豊女

盛　間宮十弥馬　妻

文化十四年丁丑十二月七日二百五十俵

女子　間宮七郎兵衛　母同

信綱　間宮市兵衛　母同　従弁官二百石　伊井源左ヱ門　為先祖名跡

重綱　間宮市兵衛　母同　妻 阿宮利左ヱ門 母

重清　間宮市左ヱ門　権左ヱ門　母

台徳公被召出為小十人組　慶安四年六十五為之方御仲間　延宝二年甲寅九八死去　葬牛込保善寺

神保三郎兵衛組寺田

代々伝毒心屋

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

延宝二年子庚十二月廿日二百俵土屋但馬守傳之為十五万石
同四年由布四郎左衛門尉知行方御知行
同七年ゟ八千六百俵之新御番大番衆之内但
同十年九月廿五日二百五十俵
元禄元年四月十五日死年　　菩提寺ゟ一應宗指定

信正　間宮新八郎
實

元禄二年巳七十俵二百五十俵御先手御弓頭
大久保出雲守組同三年庚午二月組頭同七年甲戌八月
宝永五年戊子二月組頭同七年庚寅二月
十二月廿五日死年　菩提寺ゟ一應宗指定

信興　間宮小次郎　權左衛門　十左衛門
實

元禄六年酉十九歳御番入
二百俵同十四年丑三月一於大手御番所傳奏
十年九年ゟ二度目ゟ御番所傳奏
宝永元年甲申二月廿日死年　菩提寺ゟ一應宗指定

信孚　間宮源七郎　十左衛門
母

元禄六年酉十九歳御番入
二百俵同十四年丑三月一於大手御番所傳奏
十年九年ゟ二度目ゟ御番所傳奏
宝永元年甲申二月廿日死年　菩提寺ゟ一應宗指定

女子
母同

元禄十二年卯九月廿六日伊勢守御番所ニ而
伊勢守ゟ申聞ニ而御番所ニ而
宝永元年甲申二月廿日死年　菩提寺ゟ一應宗指定

信憑　間宮兵藏　十左衛門
母

元禄十二年卯九月廿六日伊勢守御番所ニ而
伊勢守ゟ申聞ニ而御番所ニ而
宝永元年甲申二月廿日死年　菩提寺ゟ一應宗指定

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

傳之爲甲斐勤番山出雲守之祖
寛政　年　　五新御番
文化八年十月十五歿在

信　　閑宮新八郎
　母
　文化八年三十一月五家督跡番

女子
　母

甲斐勤番
柳原冨藏　次男

重宗　閑宮助十郎
　母

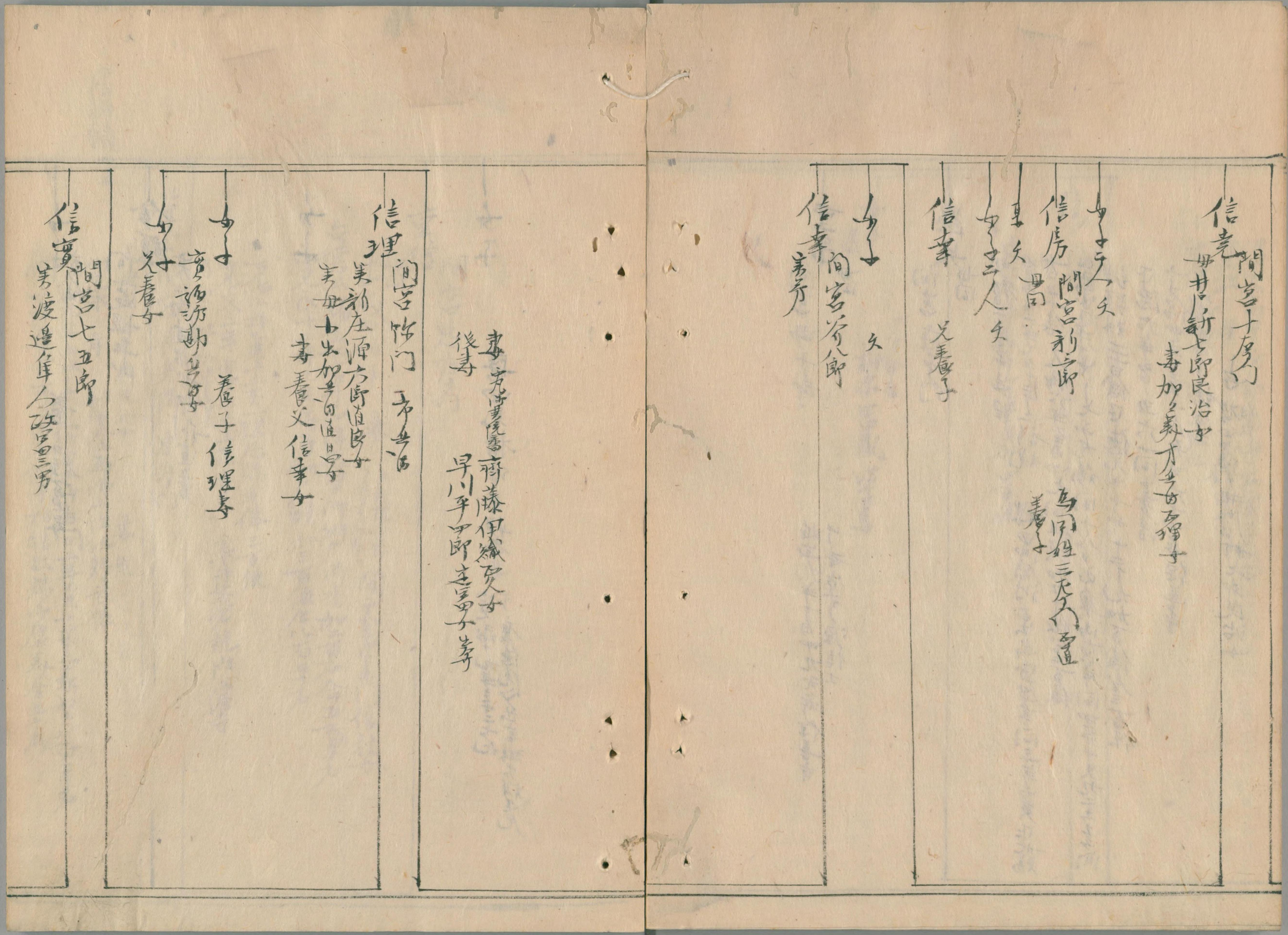
盛貞　閑宮庄之介
　母
明暦二年甲申生
貞享三年丙寅新規
百五十俵入御六年酉九月組頭加五十俵合二百俵
元禄元年戊辰九月御目付奥御右筆同四年辛未九月御
組頭格二百俵正徳元年辛卯十二月九
正徳六年丙申六月病
宝永四年丁亥十八死年六十四妻保
子御奥右筆
　妻　榊原伊織仲次女　井戸新七郎良治女

延宝九年辛酉
于時立之源信士

信　　閑宮新八郎
　母
　文化八年三十一月五家督跡番

女子
　母

甲斐勤番
柳原冨藏　次男



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

女子　寿姉　養子信寛妻

信顕　阿宮恒五郎

実高林伊十郎利直五男

女子

女子　喜見摂律寺朝志妻　寛永十九年三月九日　於慶徳院心岳宗猷大禅定尼

重信　間宮忠左衛門

幼名

十四歳而始拝　妻　戸次権四郎道雪女　於豊前国新吉原

与徳公賜三百五十石　近習御納戸頭加三百俵

寛永十二年乙亥高四百俵　御納戸頭加三百俵　合八百五十石

万治二年己亥十二月二陵居賜采俸三百俵

寛文三年癸卯三十一死年　妻斗辺宮龍山松源寺

於豊前国京都

重通　間宮長兵衛忠左衛門

妻無

寛永　年　部屋住為弟小性組賜三百俵

万治元年戊戌十二月三家督　妻

同二年己亥十二月三御小性組

同三年庚子十二月二御不例中相詰故賜米俸金五十両　石五斗

戸田傳右衛門親重妻

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

女子
女

戸田七之助　妻

重

間宮右之助　長兵衛

蜀

万治三年庚子十二廿五始　御目見
寛文七年丁未十一廿一　御屋住之御書院番戸田相模守組跡三俵

寛文二年壬寅十二廿五始　御目見
同十二年子五廿六新規為御小性組之筆頭組
延宝二年甲寅三十三死

重

間宮小左衛門

同

寛文二年壬寅十二廿五始　御目見
同十二年子五廿六新規為御小性組之筆頭組
延宝二年甲寅三十三死

一國

童

間宮惣兵衛　孝之

童

間宮惣兵衛　孝之

書家

妻子　中奥小姓

延宝二年甲寅十二廿始　御目見
延宝六年午三廿六新規被召出為御小性組之筆頭
天和元年辛酉八三俵但
文禄二年巳十一六為御開御番改一学よ
同七年甲戌十二七家督七百五十石并知三百石加増
主水同八年乙亥二十八家督御徒頭為代
同九年丙子七四月御小納戸改孝之助と改
同十年丁丑　御目見御小性組

妻子

延宝二年甲寅十二廿始　御目見
延宝六年午三廿六新規被召出為御小性組之筆頭
天和二年壬戌四廿二御役料四百石加増
貞享二年乙丑十二廿五御持筒頭
同七年庚午十二七致仕跡俸三百俵同十三年庚辰七十九年
杉源寺ニ而一吸玄江居士

曲直瀬青湾院玄理妻

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

為中根大隅守組行年廿五歳
寛永四年六月九日卒三奉松源寺
号松翁去洞居士

重健 母 頼分
閑宮安房守

延宝四年丙辰十二月 叙見蔵人
同六年戊午三月廿九日 新規為御書院番士 御前之儀
元禄七年甲戌十二月 賜白銀三百枚 御作事之節
同十三年庚辰三月六日 御書院番頭 御作事之節
宝永七年庚寅六月六日 御作事之節
享保十七年壬子十二月廿八日卒 法名浄重院

某 母
閑宮平四郎 伊豆守

子 母
女子 母
某 母
女子 母

享保十七年壬子十八廿六歳 法名為妙善尼 組屋羽五左衛門妻
寛延二年己巳十七日 孔心貞誠信女 法名為清雲幼童女

杉浦市九郎 改成妻
法名如雪

文禄十五年丙午生 寛永十年癸酉十六日卒 寿松源寺
号清雲幼童女

子 母
女子 母
某 母
女子 母

子保九年甲申生 寛永十年癸酉十六日卒 寿松源寺
号雪園祥枝童女

子保元年甲辰生 寛永十年癸酉十六日卒 寿松源寺
号梅香都信女

法名如雪
本多図書頭忠晴家臣 宝永二年乙酉四十九 寿松源寺
子権之丞忠雲浄阿大姉

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

信長　　同宮内卿　　同助左衛門

綱紀　元亀

（宗安中山信濃守盛重　蜂屋権兵衛尉　四男

妻　十市遠忠女

養母（川上小源太忠克女　元亀綱紀妻

十市　能登守

某　宗沢帥

女子　（某庶子安定妻　天保二年没　年七月廿二日

信之　岡宮長兵衛　一学子

女子　（某中島養子　寛政元年没

妻　（鵜殿長持養女　寛政元年没

妻　（遠山景晋次男　寛政元年没

女　（玉米六郎左衛門妻　文化十六年没

女子　（某庶子　文化十六年没

女子　（某庶子　先遠院殿妙了日時女　文政十一年没

女子　（某庶子　大野傳兵衛親重妻　文政十一年没

女子　（某庶子　浄岸院殿戒蓮宗越居士　文政十一年没

元禄九年没　法名宗心　墓所見宝永元年四月　訂屋住　仏書院蕃阿部定孝四男　文化十二年没　七百五十石　於菊傳ス　文政十一年没　墓所禅銀長久寺

同十七年没　法名一元寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

女子
母同

信命 母土井平左門時甲女
妻青木與左門信政女
鉄炮松倭備前守正房女

政方 大野七之助
母同

定豫 宝暦八年戊寅八十九文寿
法号見性院殿
高野山信相寺子

忠之亟 母松倭備前守正房女

猪之助 母同 宝暦二年壬申二六夭英同等
于遠陽寺

多賜 母同 宝暦六年丙子二六
于雲光寺

女 母同 松植右京亮英成妻

信清 母同 妻内藤政丘卿 女

安永元年壬辰
五月七日卒
法名
天明七年丁未四月八日丸山祥組勤本振地信守但
寛政九年丁巳八二押

問宮織部 始左膳
母土井平左門時甲女
妻青木與左門信政女
鉄炮松倭備前守正房女

信之亟 母同 寛保元年辛酉十月廿日卒
寛保元年辛酉十月廿八日丸山祥組信守但
明和九年壬辰九月九日卒
于法林院殿
于高野山信相寺

問宮忠之亟 母松倭備前守正房女

集 母同 為大野鉄之助政信
養子
宝暦八年戊寅八十九文寿
于桃蔭幻涼童子

問宮織部 始左膳
母土井平左門時甲女
妻青木與左門信政女
鉄炮松倭備前守正房女

信命 母同 寛永六年己巳八十二卒但
元文二年丁巳三月九日小梅常泉寺
于蓮受院殿宝寿妙洞日高大師

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

改
文治二年四月二十九日卒
于二箇禅味房主
大野彦三郎沙弥房門 為天野七之卿改苗
養子

集
宝暦十四年二月七日卒
于紀理亭子

母
宝暦十年四月二十四日卒
于書夢亭子

母同

間宮久五郎

信
母内藤豊前守
寛政十年二月廿日卒

間宮庄五郎

正秀
寛保四年正月廿三日卒
法号慶誉秀山大居士
元和元年五月七日没
于常秀

間宮庄五郎

正勝
母
慶長七年二月廿日卒
元和元年五月晦日
大伴善植村出羽守娘
寛文十年六月九日卒
于長明寺

妻
寛永九年二月廿九日卒
于寶塔院妙春

寛永廿年二月廿九日卒
于長明寺
順照院妙蓮日尚

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

信政 ― 信行 ― 信尚 ― 信定 ― 信堅 ― 信道 ― 信隆 ― 信種 ― 信寿 ― 信義 ― 信堯 ― 信敬 ― 信順 ― 信正 ― 信睦 ― 信成 ― 信篤 ― 信宝 ― 信明 ― 信久 ― 信彰 ― 信広 ― 信正 ― 信義 ― 信一 ― 信道

信政 ― 信行

信行 ― 信尚

信尚 ― 信定

信定 ― 信堅

信堅 ― 信道

信道 ― 信隆

信隆 ― 信種

信種 ― 信寿

信寿 ― 信義

信義 ― 信堯

信堯 ― 信敬

信敬 ― 信順

信順 ― 信正

信正 ― 信睦

信睦 ― 信成

信成 ― 信篤

信篤 ― 信宝

信宝 ― 信明

信明 ― 信久

信久 ― 信彰

信彰 ― 信広

信広 ― 信正

信正 ― 信義

信義 ― 信一

信一 ― 信道

信政 ― 信行

信行 ― 信尚

信尚 ― 信定

信定 ― 信堅

信堅 ― 信道

信道 ― 信隆

信隆 ― 信種

信種 ― 信寿

信寿 ― 信義

信義 ― 信堯

信堯 ― 信敬

信敬 ― 信順

信順 ― 信正

信正 ― 信睦

信睦 ― 信成

信成 ― 信篤

信篤 ― 信宝

信宝 ― 信明

信明 ― 信久

信久 ― 信彰

信彰 ― 信広

信広 ― 信正

信正 ― 信義

信義 ― 信一

信一 ― 信道

信政 ― 信行

信行 ― 信尚

信尚 ― 信定

信定 ― 信堅

信堅 ― 信道

信道 ― 信隆

信隆 ― 信種

信種 ― 信寿

信寿 ― 信義

信義 ― 信堯

信堯 ― 信敬

信敬 ― 信順

信順 ― 信正

信正 ― 信睦

信睦 ― 信成

信成 ― 信篤

信篤 ― 信宝

信宝 ― 信明

信明 ― 信久

信久 ― 信彰

信彰 ― 信広

信広 ― 信正

信正 ― 信義

信義 ― 信一

信一 ― 信道

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

同十三年卒生四子兄弟三回西信寺
于宣揚院幼院智演

女子
嵩
大井主水 新座
持長 嵩 三和寺
子住七年三十二年六月大村在中即改着養子

信要 門宮勘左衛門 始八之進
母
正保四年丁亥生 宝文元年三月十九
延宝四年丙辰八十九 元禄十三年長明寺
子

門宮五郎吉
母 嵩
門宮源之丞

信明 門宮勘左衛門
母 嵩
妻井出太左衛門 女
子

宝文十三年子生 元禄五年壬申十二月二日死 長明寺
元禄七年甲戌九月九日死年廿三 長明寺
子

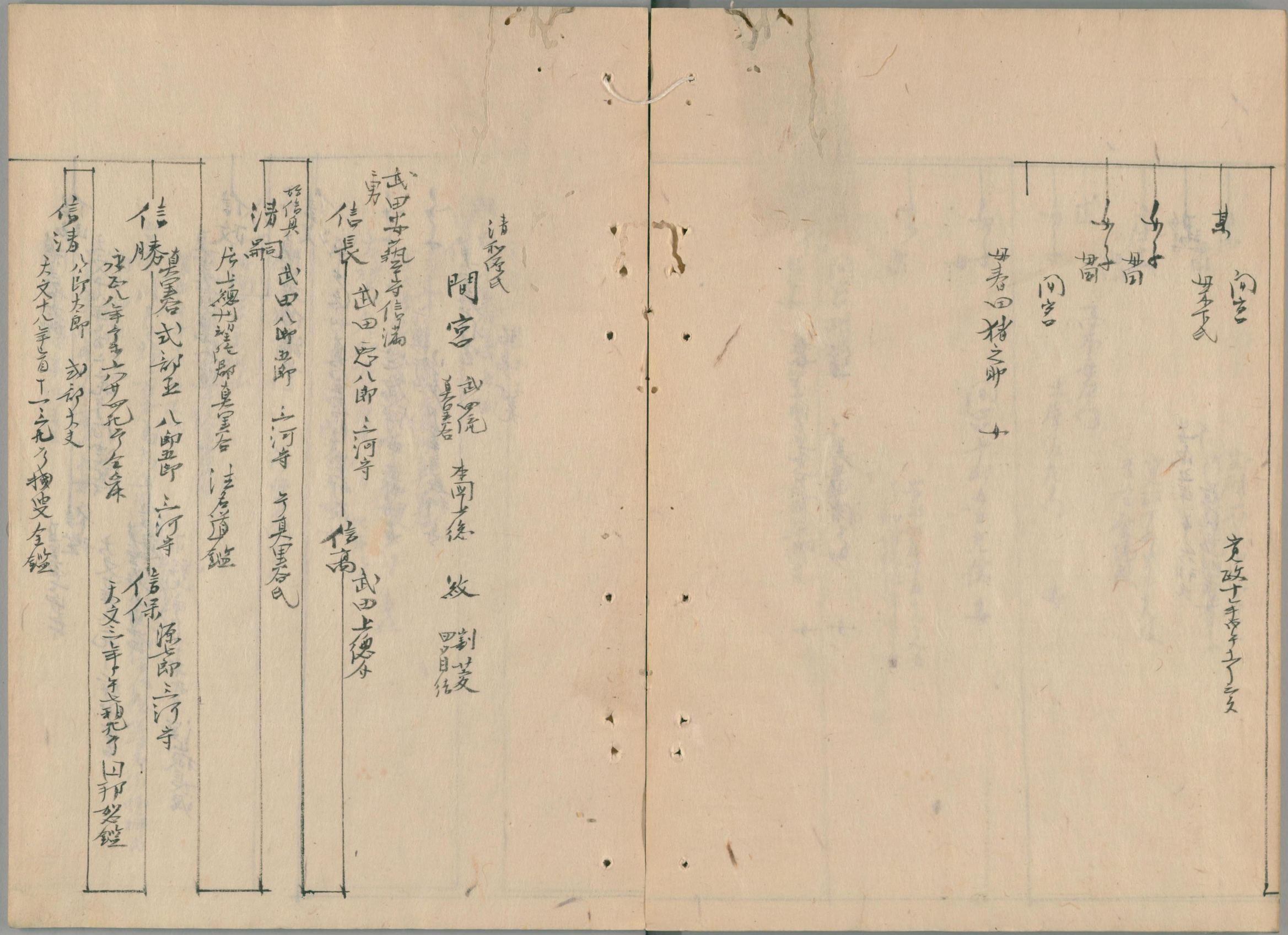
明暦二年丙申
宝文十三年子
子宝永六年己丑

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

延宝三年乙卯生

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用



信助　真宗宮家卿
大文九年四月二十九日薨
信隆　真宗宮家卿
大文廿年八月九日薨
信慶　真宗宮家猶子
永禄九年十月十七日薨
信政　真宗宮信濃守
信次　宮家猶子真宗宮家仕官
猶子　宮原伊予守義時妻
猶子　真宗宮家
山名伊豆守教行妻
猶子　真宗宮家
後醍醐天皇
猶子　駿河前司

尚信　母　　所右ノ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寛文六年宇三翁始　御目見高四百石
同七年十月十一日一部定傳　大久保重安時伊賀守組　畑二百石
元禄二年庚午十二月廿六日卒　法名高本寺殉死傳時
同六年癸酉八十八歳卒　葬青時山法善寺
宇出雲院殿道與信俊

寛文十二年子九十六子妙澤
延宝二年寅七十六久々妙道

某　母

間宮善斎　傳右ノ
母

元禄六年癸酉十二月廿六日石高十普請組大久保主計頭組
同七年甲戌二月二為相伺御番跡傳右ノ同
同十一年戊寅七十六死養法善寺

宇覚月院殿道栄日照尼

相州御中修組
間宮理左ノ
母

妻

無嗣断絶

某　母

間宮虎之助

元禄十一年戊寅十二十八歳百六百石
同十二年己卯二十五組御小姓組
同十三年庚辰十一月一段高十俸善寺
宇雪雲院殿玉法

元禄六年癸酉八十八
宇岐惠

妻

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

信秀 閑宮安市
信時 閑宮主税
妻卓淫房忠子
信行 閑宮主税
妻大草淫房忠子
妻大草與十郎忠次女
信定 閑宮主税
妻大草淫房忠重女

信敏
信秀 閑宮兵太郎 半左門 諸九郎
妻
生母
保應元年辰八月八日 卒
宝文六年申子七月廿日 立百石
権之助
宝文三年己未八月九日 卒
宝文六年申子七月廿日 立百石
妻
母
閑宮半左門
信世
宝永九年壬申生
万治二年己亥七月九日 卒
宝文元年丁巳二月三日 立百俵
明暦三年丁酉六月九日 卒
于一説負指移尺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

信秀　御宮内大輔　御宮内右京亮
　妻
　　寛文六年中子七十歳台知之
　　延宝八年庚申九月九日御年加百倍台三百倍同年十一十五帥殿
　　賜時服二羽織
　　元禄二十年丁七廿六死
　　于智積院孤峯全暁居士
　妻　法名池田士左衛門長治女嫡孫

信明　間宮三郎右衛門　所右衛門
氏信　妻　法名　永倉千阿佛　女子　元禄十三年庚辰四月九日法明寺
　　　　　　　　　　　　　　　于絶浄院蓮渓日宣大姉
　　　　　　　　　　　　　　　明和六年己丑十九九年九十五齢拓蔵寺
　　　　　　　　　　　　　　　于長寿院殿廓室貞性大姉

　　　　　　　　　　　　　　　播磨守

大和二年乙亥九廿五卒台信台大御番武田松前守組賜三百俵
文禄二年癸巳十二月二日自三百俵於筑前而御先中御列座奏保館之寺
傳之　同五年丙子九為新御番之仁同十年酉亥正十九為新御番
同十二年乙未正廿五賜金二枚寺領
宝永六年己丑十二廿五賜金二枚寺領
台賜七百石之儀　年
正徳四年甲午十五廿六卒
于湯島聖堂前播州龍山浄應大居士

　　　　　　　　　　　　　　　諸史改播方守
　　　　　　　　　　　　　　　従伊勢守用於　御前加作二官
　　　　　　　　　　　　　　　為中書侍従之仁依諸方

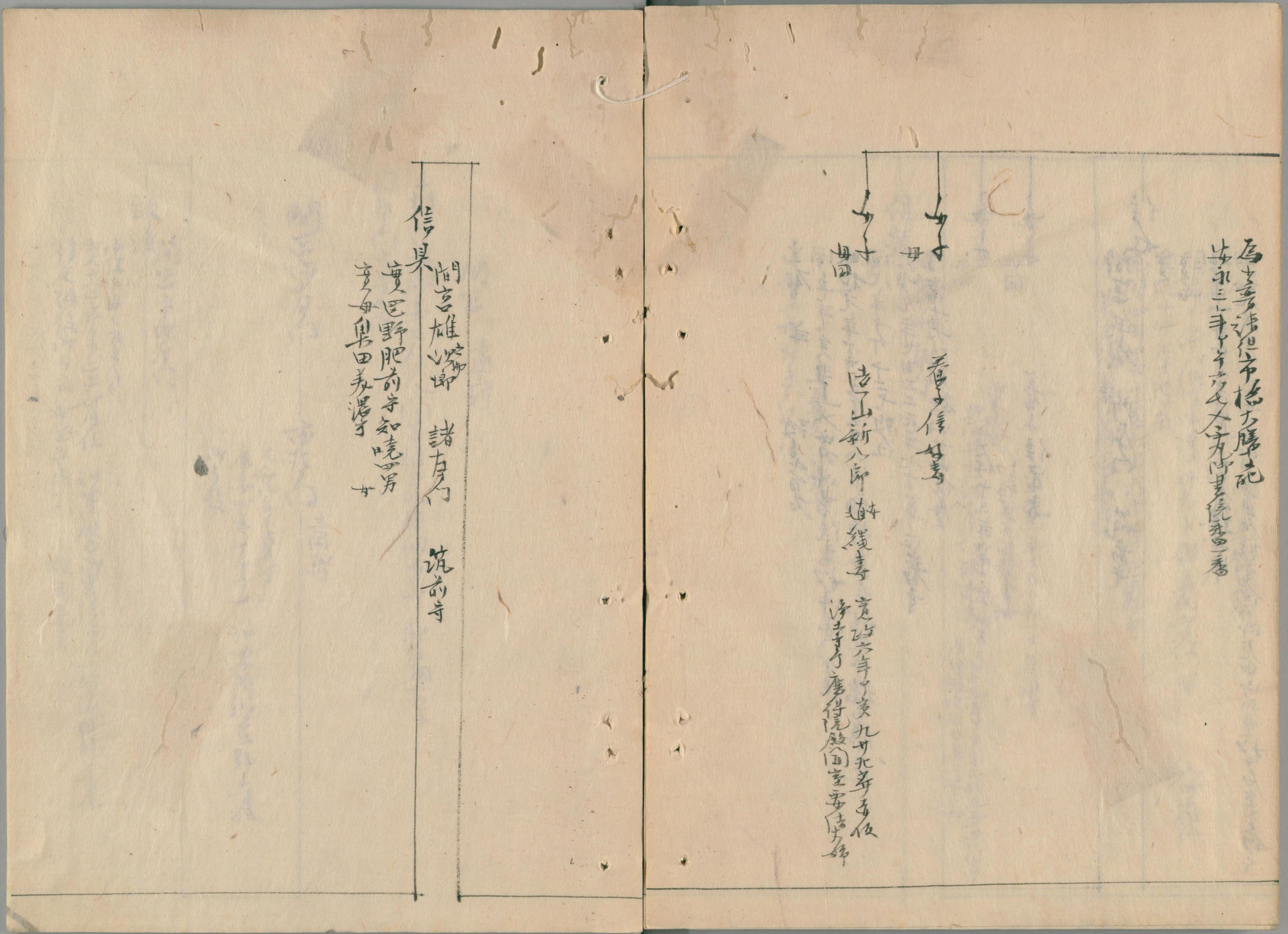
　　　　　　　　　　　　　　　高井市左衛門重勝妻
　　　　　　　　　　　　　　　小田切加兵衛直昌妻

信盛　間宮　所右衛門
　妻　永倉千阿佛

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

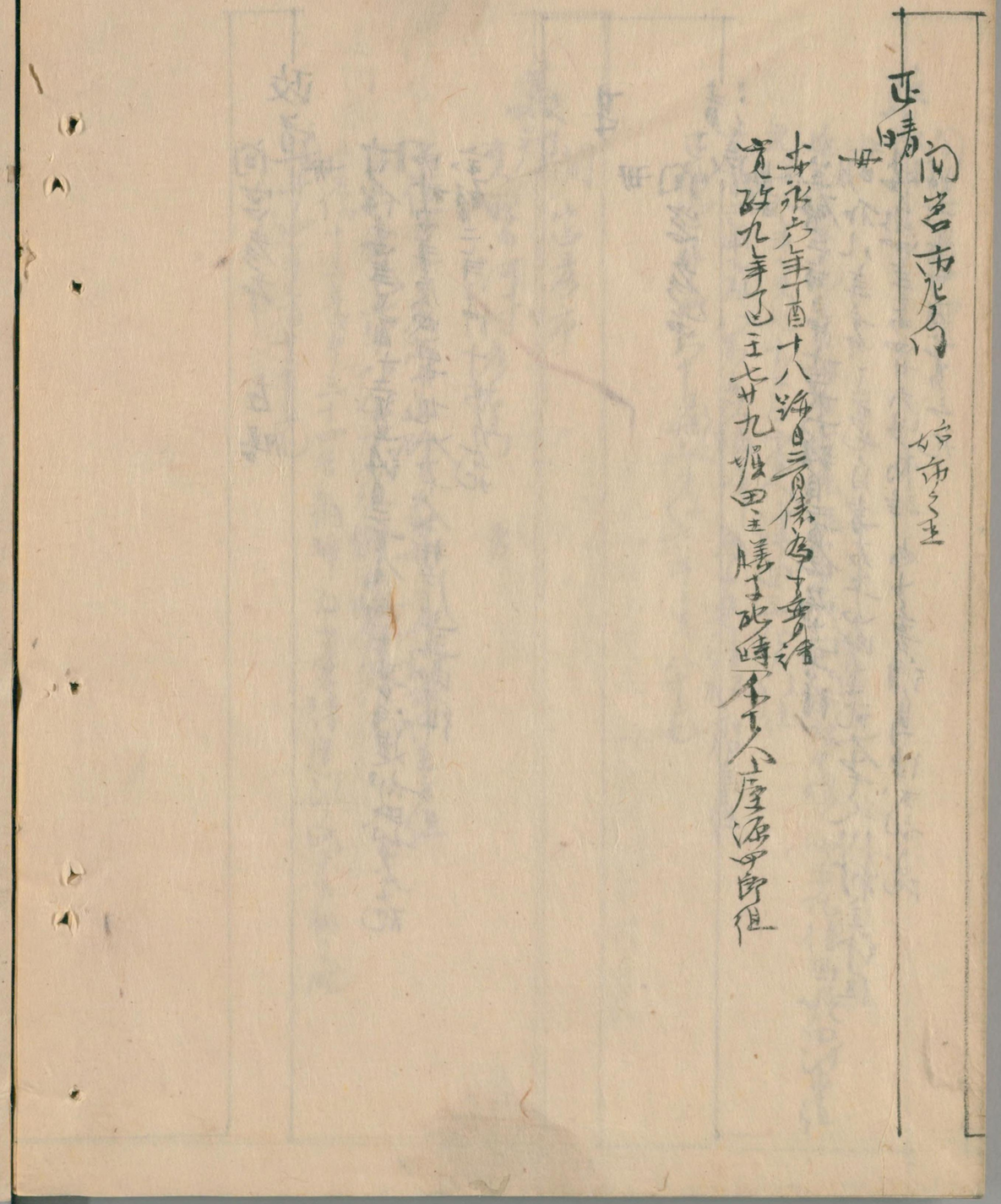

信長
信雄
信孝
信吉
信貴
信高
信秀
信包
信意
織田
羽柴
豊臣
秀吉
秀勝
秀次
秀保
秀俊
秀秋
秀頼
秀勝
秀信
秀雄
秀信

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116　ガラス使用

838
297
116



国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用